

「防災探検ツアー」を開催

～ 防災マップ作成や減災館の見学ツアーを通じて防災意識向上を図る ～

日本損害保険協会中部支部（委員長：川杉朋弘・東京海上日動火災保険株式会社、常務執行役員）では、幼少期からの防災意識向上を図ることを目的に小学生を対象とした「防災探検ツアー」を開催しました。

<防災探検ツアーの概要>

日時：2025年3月27日（木）9時～11時50分

場所：名古屋大学「減災館」

参加者：小学生16名（1年生から6年生）と保護者13名

内容：① 開会

② ワークショップ「名古屋の名所の防災マップを作ろう」

③ 発表会

④ 減災館見学ツアー

⑤ 閉会

開会では、主催者を代表して損保協会中部支部の及川事務局長から、「必ず来る巨大地震について自ら防災について行動できるようになってほしい」との挨拶がありました。

ワークショップでは大学生にサポートしてもらい、名古屋市内を中心とした防災マップを作成しました。各自で名所の地盤を調べたり、家の近くの避難所を調べたり、液状化しやすい地域を調べたりして、地図にまとめました。

発表会では1人1つ、調べたことを発表し、「災害ごとに避難場所が違うことを初めて知った」、「印をつけていくと液状化しやすいところとしにくいところの境界が分かった」といった感想がありました。

減災館見学ツアーでは、減災館の名古屋周辺地図やプロジェクションマッピングを用いて、地震や洪水のシミュレート映像を見たり、参加者の自宅周辺の災害危険度等を見たりしました。

閉会では、愛知県損害保険代理業協会の橋会長から、「保険を含めたリスクマネジメントができるように防災知識を今後も継続して勉強してほしい」との挨拶がありました。

また、イベント終了後の参加者アンケートでは、小学生16名全員が今回のイベントについて「楽しかった」と回答し、「防災に対してもっと意識が高まった」、「日頃から災害を意識していきたい」、「またこの減災館に来て学びたい」といった声がありました。

当支部では、引続き幼少期からの防災教育等を通じて、防災意識向上のために取り組んでまいります。



<防災マップ作成の様子①>



<防災マップ作成の様子②>



<発表会の様子①>



<発表会の様子②>



<減災館ツアーの様子①>



<減災館ツアーの様子②>